

山梨県ダム長寿命化計画

ダムの計画的かつ効率的な維持管理の実現に向けて

ダムがもつ多面的機能を保全し、良好な状態で次代につなげていくため、以下の3つの視点で取り組みを進めていくとともに、継続的な改善を図っていきます

視点① 長寿命化の推進

ダムの堤体や貯水池の機能を保全することは、ダムの維持管理において長期の課題です。このため持続可能な維持管理サイクルを確立し、それを定着させてダム全体の長寿命化を推進します。

視点② 維持管理コストの低減

ダムは、土木構造物や機械・電気通信設備などの複数の施設によって機能・役割を發揮しています。これら施設の特性に応じた最適な補修対策やその実施時期などを定め、維持管理コストの縮減を図ります。

視点③ 事業の平準化

事業の計画的な実施、コスト増加の抑制、財政負担を均等にするため、国庫補助事業などの活用や事業効果の検証、ダム毎に事業実施時期を集中化することで、事業を円滑に推進していきます。

ダムの長寿命化とは？

県民の安全・安心な生活や事業活動を将来にわたり確保するとともに、社会的要請や施設状態などを踏まえつつ、ダムがもつ多面的機能を継続的に保全していくものです。

山梨県のダム

本県の河川は勾配が急峻なため、古くは明治 43 年の大水害をはじめ、昭和 34 年の伊勢湾台風、昭和 41 年の台風 24 号等、たびたび洪水の被害を受けてきました。

また、産業の発展、生活水準の向上等による水需要の増大に対処するため、治水を含めた多目的ダムによる河川総合開発を進め、昭和 50 年 3 月の広瀬ダム完成から平成 20 年 3 月の琴川ダム完成により、現在では 6 つのダムが稼働しています。

山梨県のダム一覧

ダム名	広瀬ダム	荒川ダム	大門ダム	塩川ダム	深城ダム	琴川ダム
竣工年	昭和50年3月	昭和61年3月	昭和63年3月	平成10年6月	平成17年3月	平成20年3月
水系名/河川名	富士川水系笛吹川	富士川水系荒川	富士川水系大門川	富士川水系塩川	相模川水系葛野川	富士川水系琴川
場所	山梨市三富川浦 山梨市三富上釜口	甲府市川窪町 甲府市高町	北社市須玉町上津金 北社市高根町清里	北社市須玉町比志	大月市七保町瀬戸	山梨市牧丘町北原
型式	中央遮水壁型 ロックフィルダム	中央遮水壁型 ロックフィルダム	重力式 コンクリートダム	重力式 コンクリートダム	重力式 コンクリートダム	重力式 コンクリートダム
目的※	FNAWP	FNW(P)	FNW(P)	FNAWP	FNWP	FNWP
堤高	75.0m	88.0m	65.5m	79.0m	87.0m	64.0m
堤頂長	255.0m	320.0m	180.0m	225.0m	164.0m	262.0m
総貯水容量	14,300千m ³	10,800千m ³	3,600千m ³	11,500千m ³	6,440千m ³	5,150千m ³

※F:洪水調節 N:河川維持用水 A:農業用水 W:都市用水 P:発電

ダムの長寿命化計画はなぜ必要？

ダムの果たす機能・役割は流域の広範に及ぶことから、ダムの安全性など、機能を保持するために必要な維持管理を継続的に実施してきました。

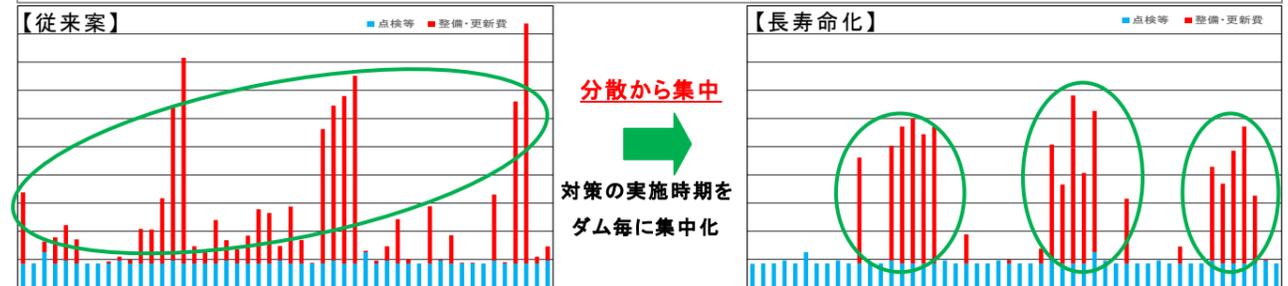
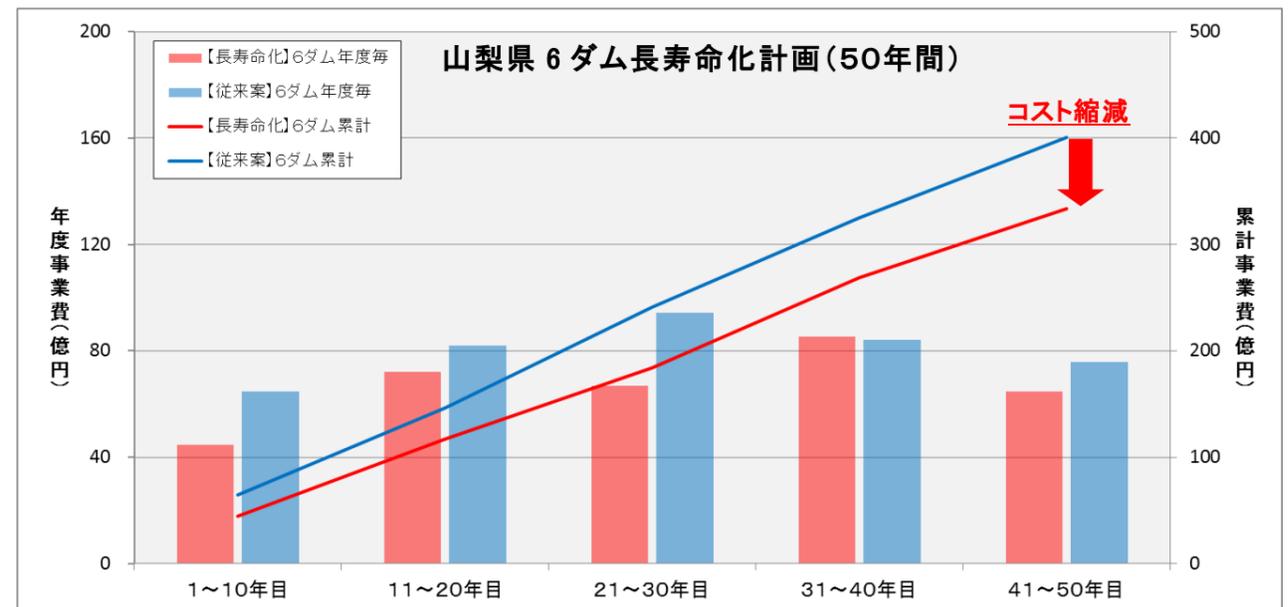
しかし、完成から約30年以上経過しているダムもあり、**ダムの設備には老朽化が進行しているものもあるため、今後、大規模な補修や更新などによる維持管理コストの増加が予測されます。**

一方で、本県のダムの維持管理を取り巻く財政環境は厳しさを増していることから、長期的な視点に立って、維持管理コストの最小化等、計画的・効率的な維持管理を行うための長寿命化計画が必要となりました。

山梨県のダム長寿命化計画

これまでの「傷んでから直す」といった維持管理ではなく、「**傷みがまだ軽微な段階から補修し、できるだけ長く使い続ける**」といった**予防保全型の維持管理を導入し、コスト縮減と施設の延命化を目指した維持管理を推進することとしました。**

さらに、対策の実施時期を**ダム毎に集中化**することにより、**維持管理の効率化**を図りました。



※上記は、現時点での点検結果、標準的な工法や単価で試算したものです。事業費は、今後の点検結果や計画の見直し、補修状況により変化する可能性があります。

ダムの長寿命化計画は作ったら終わり？

今後も施設の診断調査を定期的実施し、施設の更新等が不要な状況であれば更新時期を先送りするなど長寿命化計画を適宜見直し、より一層のコスト縮減に努めていきます。